

東海バロックプロジェクトによる

「バロック音楽を知るためのヒント」～2nd

今回はそれぞれの楽器に焦点をあてます。

チェンバロをはじめ、バロック時代に使われていた楽器に実際に触れたり、歌ったりする事でより身近にバロック音楽を感じてみましょう。体験だけでなくプロによる演奏と楽器についての話もお楽しみいただきます。

第5回: 12月13日(日) 16時～17時15分

フラウト・トラヴェルソがフルートになった時

～フルートではないフルートと

フルートではなくなったフルートのお話

演奏者: 片岡 博明 (フラウト・トラヴェルソ)

杉浦 道子 (チェンバロ)



曲目(予定): R.カー

J.M.オトテール

G.Ph.テレマン

M.ブラヴェ

イタリアのグラウンド

エコー

ソナタ ト長調

ソナタ ト短調

会場は11階東教室です

受講料: 各回 会員:4,104円 一般:4,320円(入会不要)

体験内容: 「フラウト・トラヴェルソ」(30分程度) 構える、触れる、間近に比べるなど



朝日カルチャーセンター
朝日JTB・交流文化塾

名古屋 460-0008 名古屋市中区栄3-4-5 スカイル10F
電話: 052-249-5553
ホームページ: <https://www.asahiculture.jp/nagoya/>

■プロフィール

片岡 博明（かたおか ひろあき）

名古屋大学卒業。フルートを野村勤氏に、フラウト・トラヴェルソを中村忠氏に師事。これまでにB. クイケン、M. アンタイ、K. ヒュンテラー、D. ブリュッヘン、S. サイタ、J. デ・ヴィネ、K. クラーク、M. ガッティの各氏に指導を受ける。1992、1994年にジョイントリサイタルを1995年以降毎年ソロリサイタルを行うなどソロ・室内楽を中心に多彩な演奏活動を行っている。また岐阜県高山市で毎年開催される夏季セミナーの講師を務めるなど、後進の指導にも当たっている。現在、ヤマハPMSフルート科講師。名古屋バロック音楽協会会員。東海バロックプロジェクトメンバー。

杉浦 道子（すぎうら みちこ）

鶯谷（岐阜）高校音楽科を卒業後渡欧。ルツェルン、ローザンヌ（スイス）音楽院ピアノ科卒業後、チェンバロ科に転向。卒業後ルガノ音楽院でも学ぶ。

スイスでは友人と共にバロックアンサンブルを結成し多数演奏会を企画。カメラータ・ドゥ・ローザンヌのチェンバロ奏者としてヨーロッパ各地、アジアツアー等にも参加。

現在は、豊橋、名古屋を中心に演奏活動、後進指導にあたっている。東海バロックプロジェクトメンバー。